

## V. 特記事項

### 1. 防災教育

#### 学生に対する防災教育

- (1) 毎年4月、全新入生(約3,100人)を対象に「防災総合基礎教育」を実施し、災害に対処するための知識の習得、応急手当の方法、搬送方法、初期消火、BLS(一次救命処置)、感染防止、本学が配布する災害対応マニュアルの解説等をオンラインと対面教育で指導している。
- (2) 「防災リーダー養成論」の授業では様々な災害に関わる専門家による授業を開講しており、令和2(2020)年度は956名、令和3(2021)年度は929名、令和4(2022)年度は790名が履修した(令和2(2020)年度・令和3(2021)年度はオンライン、令和4(2022)年度は対面で実施)。
- (3) 「防災リーダー養成論実習」では日本赤十字社、警察、消防、地域住民と連携して防災訓練を実施するほか、搬送・トリアージ訓練、防災資器材の使用訓練などを行っている。令和2(2020)年度以降はオンラインを併用しながら実施している。
- (4) 平成29(2017)年度から「防災リーダー養成論」と「防災リーダー養成論実習」の単位取得学生で希望する者には、防災士直前対策講座を開講し、特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する「防災士」の受験機会を提供している。

#### 教職員に対する防災教育

災害に強い防災拠点大学として、防災体制の構築と強化を推進するため、教職員を対象にBLS(一次救命処置)講習会を実施している。

#### 小・中・高等学校に対する防災教育と活動支援

- (1) 都立永山高校、千歳丘高校、町田高校が実施する宿泊を伴う防災訓練に協力するほか世田谷区、多摩市、稲城市等の小・中学校での防災訓練にも協力している。主な内容は災害や防災に関わる講義、初期消火、応急手当、搬送法、BLS等の指導である。
- (2) 多摩市教育委員会からの要望で小・中学校が実施する宿泊を伴う修学旅行、スキー教室等にも研究所の救急救命士が付添支援をしている。

#### 地域住民に対する防災教育と活動支援

東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県等の自治会を中心とした地域住民に対する救急・防災教育にも協力しており、実際に避難所生活を経験してみる避難所運営訓練も行っている。

#### 防災士について

平成29(2017)年度から、「防災リーダー養成論」及び「防災リーダー養成論実習」の単位を取得、直前対策講座を受講した学生に対し、日本防災士機構が発行する防災士の受験資格が得られるようになった。令和3(2021)年度は295名が合格している。